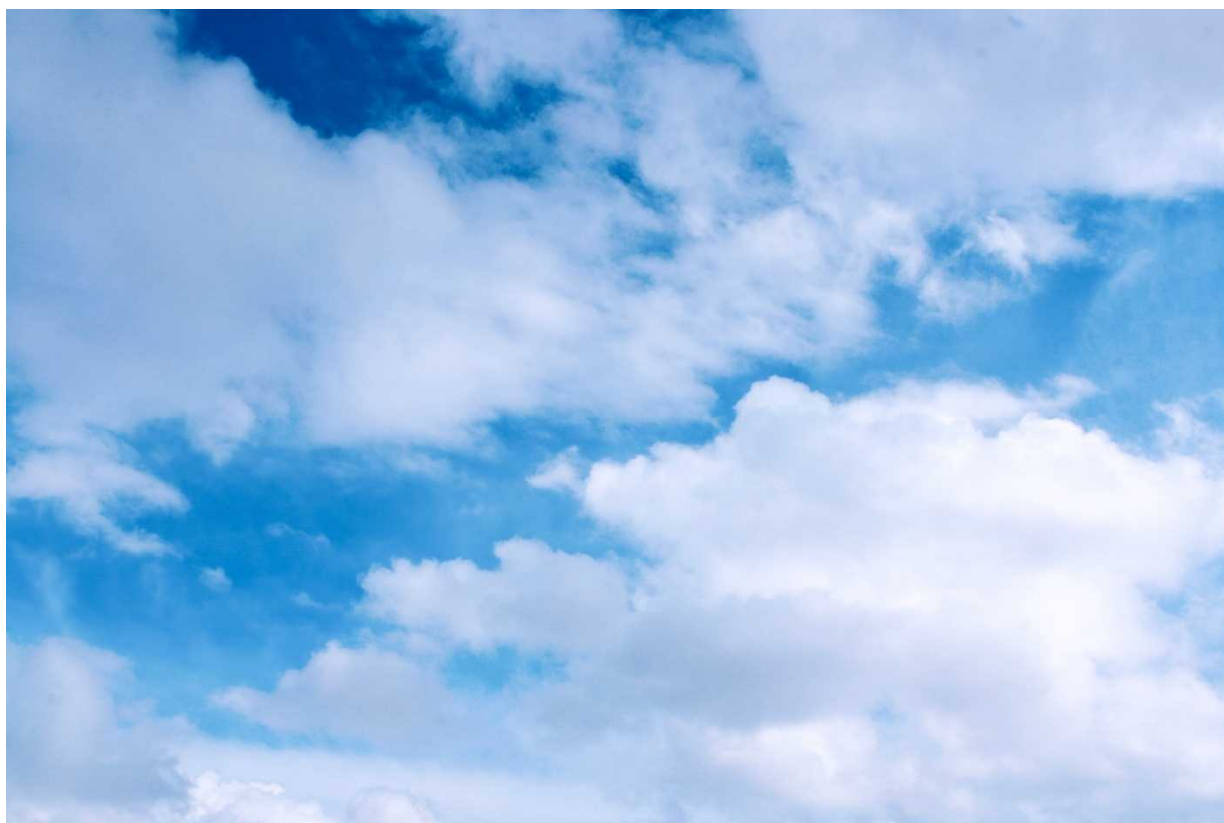




# **平成27年度 外国人留学生後援会実施事業報告**

## 目 次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1. 平成27年度留学生研修旅行の実施について ..... | 1  |
| 研修旅行参加者感想文 .....              | 2  |
| 2. 平成27年度前期新入留学生歓迎会について ..... | 14 |
| 3. 平成27年度後期新入留学生歓迎会について ..... | 15 |
| 4. 外国人留学生後援会奨学金受給者について .....  | 16 |
| 5. 平成26年度～27年度実施事業一覧 .....    | 17 |
| 《参考》会費収入の使途について .....         | 18 |





## 1 平成27年度留学生研修旅行の実施について

今年度の留学生研修旅行は、11月13日（金）、14日（土）の一泊二日の日程で、会津地方の地場産業や名所、旧跡の見学や体験を行い、留学生21名と日本人学生チューター2名の合計23名が参加しました。

先ず1日目は、福島県が全国に誇る菓子メーカー・太郎庵の本社工場を見学し、国立磐梯青少年交流の家に宿泊しました。交流の家では、夕べのつどいや朝のつどいなど、施設のイベントに参加して他の宿泊者と交流を深めたあと、親睦会を開催して、ゲームを楽しむなど、参加者同士の親睦を図りました。

2日目は、天鏡閣、大内宿、会津鶴ヶ城といった会津を代表する名所の見学、会津本郷焼きによる陶芸体験、昼食では会津産フードのビュッフェなど、まさに「会津」を堪能することができました。



鶴ヶ城での記念写真撮影



会津本郷焼き陶芸体験



太郎庵工場見学



大内宿の見学

## 研修旅行参加者感想文

### 【氏 名】 張 潔琮(中国)

今回の会津旅行に参加してとても良かったと思います。初日は、あいにくの雨でしたが私たちのテンションが下がることはありませんでした。

最初に、太郎庵工場に行ってお菓子の作り方などを見学しました。

社長さんはやさしい印象の方で、お菓子の様々なことを丁寧かつ面白く教えて下さいました。また、自社製品の試食などは、中国にはなくて日本のいいところだと思いました。

「国立磐梯青少年の家」に宿泊し、いろいろとお世話になりました。他の団体とゲームをしたり、朝のラジオ体操も経験しました。体操は久しぶりで高校時代に戻ったようでした。

翌日は、天鏡閣・大内宿・鶴ヶ城を見学しました。そこから、日本の江戸時代・明治時代の時の歴史が少し分かりました。また、会津本郷焼を体験しました。手がぬるぬるするので、形を整えるのが難しかったのですが諦めずに作りました。

いい体験で、日本の事を勉強してまたひとつ日本文化への理解が深まりました。

### 【氏 名】 張 天一(中国)

今年度の留学生研修旅行は、11月13・14日の一泊二日の日程で長い歴史と文化を誇る会津を訪れました。鮮やかな紅葉に彩られる風景を見ながら、会津の歴史と文化に触れて日本の秋を満喫しました。

猪苗代湖の風光の美しさと競うような天鏡閣や、昔ながらの町並みで時代劇のセットのような雰囲気を感じられる大内宿。難攻不落の名城と謳われた鶴ヶ城などを訪れました。

また、福島県を代表するお菓子メーカー「太郎庵」の工場の見学や、400年の伝統を持つ陶磁器の工芸品作りの体験などをしました。

同じ留学生とはいえ、普段はなかなか交流のない国の学生との親睦を深め、世界の様々な国の文化について知り、コミュニケーション能力の向上を図る事ができました。

本当に素敵な時間を過ごす事ができて感謝いたします。

### 【氏 名】 魏 旭 旭(中国)

私は、今回の研修旅行は日本文化を体験するいい機会だと期待して、カレンダーを見ては楽しみにしていました。

バスの中ではクイズが出され、解答できた人が景品をもらえるゲームがあって、気分が最高に盛り上がりました。旅行でこんなに胸が躍るような気持ちになったのは初めてです。

11月の会津路は、山々の紅葉と木々の緑が点描のように織りなす風景が美しく、バスの中からずっと写真を撮り続けました。

大内宿は江戸時代の宿場町で、当時の町並みが今も残っていて、江戸時代の日本の雰囲気

気を味わいました。町並みを当時のままにしておくということは、住民の方の協力がなければできない事だとも感じました。いろいろと不便もあるのだろうし、夏の暑さ、冬の寒さしのぐことは大変だと思います。

自分の目で日本の歴史と文化を体験して勉強になりました。

**【氏 名】   グエン   スアン   ハイ(ベトナム)**

1泊2日の研修旅行で会津など福島県内のいろいろ有名なところを廻って来た。  
今まで、全然知らなかった留学生と日本人学生と友達になって話ができた。  
「国立磐梯青少年交流の家」の朝のラジオ体操もめったにない体験だった。  
明治時代の天鏡閣と、江戸時代の宿場町が見られた。江戸時代と明治時代が今の時代で時間を超えていっぺんに経験できる旅行となった。  
自分の国も、こんなふうに紹介したいと思った。  
自分の手で本郷焼のお茶碗を作ったのがすごく楽しかった。  
スプーンを作ったが、壊れずに焼上がるだろうか？これは、あとで届けられるそうだが待っている間も何だか楽しい。  
また、機会があれば是非他のところにいってみたい。

**【氏 名】   レ   ティ   イエ(ベトナム)**

福島大学に入ってから、初めての留学生研修旅行ツアーに参加しました。最初はいろいろと考えすぎて心配が付きませんでした、思いのほか楽しくて様々なことが勉強になりました。旅行前は、今まで全く話をしたことがない人が多くて緊張しましたが、皆さんがやさしかったので、私も普段通りにコミュニケーションがとれてきました。  
朝のラジオ体操は、手足を伸ばして縮める前屈や軽い跳躍、体を左右に捻って回して深呼吸・・・と瞬く間でした。  
明治時代に建てられた皇族の別荘という立派な天鏡閣では、「バンスルドレスの貴婦人が見える」という不思議があるはずはなく、美しい洋館には、ベトナムコーヒーの香りが似合だろうと思いました。  
江戸時代の宿場町の大内宿を実際に見て、よく今まで残っていたものだと感心しました。本郷焼で、手作りのお皿にチャレンジしたので出来上がりがどうなるか楽しみです。  
今日本にいるのだから、様々なことを見て触れて日本をもっと勉強します。

**【氏 名】   大森   みなみ(学生チューター)**

良かった点も勉強になった点もたくさんありますが、何より参加者の皆さんと仲良く出来たことが本当にうれしかったです。日本人は二人だけだったこともあって、最初はかなり緊張していました。クイズの時も、シーンとなってしまったら、どうしようとか（笑）でも皆すごく積極的に解答してくれましたし、楽しんでもらえたようで良かったです。

自分自身あのクイズを考える中で会津について知らなかった事を知ることが出来て勉強になりました。

宿に着いてからもずっと楽しかったです。最初のつどいでは簡単なゲームをしましたが、あのゲームで、スキー連盟？の高校生と話せました。その後も廊下で高校生の方とすれ違うたび挨拶したりして、その日初めて会って多分ずっと会わないだろうけど、こういうのいいなあと思いました。「一期一会」ってこんなのかな？

夜ごはんのときなんか最高でした。いろんな人と写真を撮ったりLINE交換したりあと缶バッジ楽しかったです。ありがとうございました。

旅行中、ベトナム語と中国語をそれぞれネイティブの方たちが教えてくれて、すごく勉強になりました。一応自分は、ドイツ語を中心に今はがんばっていますが広く浅く？いろんな国の言語をあいさつくらいは言えるようにしようと思いました。人間は、母国語を話しているときが一番輝くなとおもいました。(笑)

2日間雨でざんねん・・・と思っていたら午後には雨が上がって、大内宿・鶴ヶ城が傘なしで観られてとてもハッピーでした。皆の普段の行いがいいんだなと思いました。

お城の中は初めて入ったので、中があんなに勉強施設になっていてびっくりでした。私は日本人なので「これは何？」とか、「どうやって使うの？」とか聞かれることあったんですが、ほとんど答えられずというか留学生はほとんど私の100倍に日本に詳しいと思いました。自分も、もっと日本について知らなきゃならないと反省しました。とにかく楽しかったです。

## 【氏 名】 钟 秋怡(中国)

今回の会津を廻って行われた研修旅行に参加して、本当に良かったと思います。会津に行くのは初めてではありませんが、「国立磐梯青少年交流の家」に泊まるのは初めてで貴重な体験だったと思います。

夕食後の交流会に、国際交流センターの森田さんがポロライドカメラを持ってきて、みんな写真撮って、自分でオリジナルの缶バッジを作ったりして盛り上がりました。交流会が終わって、留学生の蔡君が「人狼ゲームをやしましょう」と提案しました。「人狼ゲーム」というのは会話型のカードゲームです。

中国の留学生はほぼ毎月1回集まって「人狼ゲーム」をやります。今回、各国の留学生20人ぐらいで、日本語で「人狼ゲーム」をやるのは初めてです。思った以上にうまくできました。センターの森田さんと六ヶ所さんも参加してより楽しくなりました。みんなの日本語コミュニケーション力も上手になっていって、すばらしい思い出も作ることが出来て良かったと思います。

研修旅行の2日目、会津の本郷焼で陶器作りを体験しました。中学校の時に陶器を作った経験がありましたから、今回より深く日中伝統文化のつながりと、違いを感じられて本当にいい勉強になりました。

今回の研修旅行の主催者と協力してくれた方々にお礼を申し上げます。これからも、機会があればまた参加したいと思います。

**【氏 名】 ビショフ オイゲン(ドイツ)**

会津への旅行は、とても楽しかったです。細川さんと大森さんのクイズは勉強になりましたし、赤べこについてたくさん知ることができました。

留学生のみなさんとのパーティも特に楽しくて面白かったです。大学がある福島市も会津も山に囲まれている地形で、そのような地形を「盆地」と呼ぶ事を知りました。

Über den Bergen weit zu wandern Sagen die Leute, wohnt das Glück.

自分で陶器のコップを作るのは特別な経験で、自分で作ったコップを使うのを楽しみにしています。

鶴ヶ城の天守閣から会津若松市内を見たのは確かに感銘の深い思い出になりました。

古い城は、日本でもドイツでも昔の栄華と過ぎ去った人々の気配が残っています。私も歴史の流れの中にいることを感じながら、鶴ヶ城ではたくさんいい写真を撮りました。

**【氏 名】 丁 偉(中国)**

会津地方での一泊二日の研修旅行は終わりましたが、旅行中の情景を今も覚えております。今回、行ったところは福島県にある会津地方です。会津地方はいろいろな古跡に富んでいて全国的に知られています。研修旅行を通して、非常に勉強になって視野も広がりました。お天気が非常に良く晴れている空にいくつかの白雲が流れ、遠くの山々の稜線がはっきり見えました。両側の野原の中にいくつかの小川が流れてゆき、バスの車窓からは、まるで絵画のような風景を見ることが出来ました。皆、この綺麗な風景にひきつけられワクワクして、バスの中は、カシャカシャと写真を撮る音がずっと続いていました。

途中、太郎庵工場での見学もありました。工場についてのムービーを見たり、スタッフの紹介を聞いたりして、この工場のインフォメーションを知りました。企業として、チームワークが一番大切だと思いました。一人一人の力は小さいけれど、集まれば大きい力になって企業に貢献できると思いました。留学生の私たち、特に今後日本で就職したい人にとって、よい勉強になりました。

1日目の宿泊先は、「国立磐梯青少年の家」です。夕食会をしてから、皆テーブルに集まって、一緒にゲームをやりました。国籍が異なりますけど、遊んでいる時にはぜんぜん障害がありませんでした。ゲームを通して互いに交流を図って、もっと親密になりました。

二日目は、会津地方の古跡を廻りました。残念ながら、前日より雨が降っていました。しかし楽しみはいっぱいあり、天鏡閣、大内宿、鶴ヶ城を次々と観光しました。

雨の中に立つ鶴ヶ城は真っ白く、まるで鶴が空に舞い上がるようでその立派さに感銘を受けました。さすが有名なお城です。城の内部を登り城内の展示品や、案内文を見てこの



城の歴史をもっと詳しく知ることが出来ました。

昼ごはんの前に陶芸を体験しました。みなさんは、自分の想像力を発揮して自分ならではの作品を作りました。なかなか思うようには作れませんでした。楽しい時間を過ごしました。

1泊2日は、短かったですが充実した旅でした。古跡の観光や、友達と交流できたので心もリラックスしました。また次回の研修旅行を期待しています。

## 【氏 名】 閔 晟彦(中国)

期間:平成27年11月13日～平成27年11月14日

目的地:大内宿、磐梯山と猪苗代湖、鶴ヶ城、会津陶芸体験、天鏡閣

今回、1泊2日で福島県の会津を研修旅行で訪れました。

初日、大学から出発して、会津の「お菓子の蔵太郎庵」で担当者のユーモアあふれる説明を聞き、日本の和菓子作りを理解しました。また、従業員のインタビューを拝見させていただき、職場の雰囲気と菓子づくりへの情熱を感じました。

次に国立磐梯青少年交流の家で夕食の後で交流会を行いました。ゲームや食事を通じ、皆の関係が良好になりました。

2日目、朝7:00から人生で初めて日本のラジオ体操を体験しました。「磐梯青少年交流の家」で朝食をとり、天鏡閣に出発しました。午前中は明治41年8月建築した当時としては極めて豪華な「天鏡閣」を観覧しました。

その後、約400年前から伝統的な技法で知られる会津本郷焼きを体験しました。自分はオリジナルな茶碗を作ってみました。



美味しい昼食終了後、福島県の代表的観光スポット大内宿に行きました。江戸の情緒を今に残す大内宿は会津西街道の宿場町で周りを山々に囲まれています。独立した宿場町として発展し、本陣を始めとして旅館や問屋等が設けられていました。芦葺の屋根が残る古い町並みは、妻籠宿・奈良井宿と並び重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

その後、同様に江戸時代の城、鶴ヶ城を観光しました。今回の旅行を通して、みなさんとの交流や、福島県の有名な場所を観光することができました。会津だけではなく、日本の文化や歴史などを学ぶことができました。

また、いつもみんなは学習やバイトなどで忙しくて顔を合わせる機会がなく、一緒に旅行することなども少ないと思うので、今回のチャンスで、様々な国の留学生と出会い、交流も深まり、人生の中で有意義な経験だったと思います。



【氏 名】 郭 偉(中国)

今回の研修旅行ではドイツ人・オーストラリア人の方々、ベトナム人や中国人の方々など、色々な国からの留学生と日本人の学生や先生方も一緒に楽しく異文化交流しました。クイズやゲームで日本文化を学びながら言葉だけでなく、文化も考え方も違いがある事に気づきました。同時に研修旅行中は沢山の違うこと、立場や個性を認め合って皆さん思いやりを持って過ごしました。とても素晴らしい経験が出来たと思います。

また、明治時代に建てられた皇族の別荘天鏡閣や江戸時代の鶴ヶ城も見学しました。この2ヶ所は私にとって2回目になりますが、会津の精神の礎はここからなのだと理解しました。

1番印象に残ったことは会津本郷焼陶芸体験でした。自分だけのオリジナル作品、自分専用の作品作りに挑みました。本当に大満足で、良い思い出になりました。

私はOECD東北スクール継続プロジェクト「地方創生イノベーションスクール2030」に参加していますので、これらの体験を生かせるような国際交流について改めて考え、積極的な活動と情報発信をしようと思いました。



【氏 名】 張 亞萌(中国)

11月の会津研修で素晴らしい体験をしました！

会津に行くのは、初めてで、福島県の北の魅力をもっとも感じました。会津は、猪苗代湖に近く、戦国時代や幕末の史跡も多い、福島県を代表する観光地と言えます。

その中で、お菓子の太郎庵の工場を見学しました。以前に太郎庵のケーキを食べたことがありますけど、工場の見学は初めてです。スタッフが親切でいろいろ教えてくださいましたことに感謝します。工場で働く社員がどんな気持ちを持って、美味しいお菓子を作ってくれているかよく勉強になり理解しました！これから太郎庵のケーキを食べるときは、今回の旅行を思い出してより美味しく感じることでしょ。

会津の歴史で有名な天守閣に行きました。赤瓦の天守閣がとても美しい鶴ヶ城です。資料によると、鶴ヶ城は今から630年ほど前に建てられたと言われるお城ですが、現在の天守閣は昭和40年に再建されたものです。今、見ても、素晴らしい建築だと思います！会津に、日本の伝統工芸を受け継ぐ職人さんがたくさんいると聞きました。

今回の研修で陶芸を体験しました。私も初めて手作りのカップを作りました。世界に一つのマイカップなので大事にします。

今回の会津研修は、歴史を感じることができた体験でした！

【氏 名】 そう かんこん 曹 湊坤

毎年、福島大学が留学生に開催してくださるこのイベントをととても楽しみにしている。去年、研修旅行で鬼怒川温泉に行ったことは今でも記憶に鮮明に残っているが、今年の会津への旅行は福島県にいるこの4年の間でとても忘れ難い思い出となるだろう。1年生の時になぜ参加しなかったのかと後悔している。

今回、印象に残ったのは青少年会館での宿泊だった。今まではホテル or 旅館に泊まったりしていたが、今回は特別だった。布団を敷くことも、部屋の片付け、掃除も我々自身がしていた。翌朝の体操もなかなかのものだった。普通の旅行より、もっと個人の自立性・規律があり、自由な寮生活を一変するように教えられた。夜のお風呂も素晴らしかった。日本に長くいてもお風呂や温泉に入ることがあまりなく、特に大人数で入れるお風呂はいい体験だった。

本郷焼の陶芸を見学できてよかったと思う。こういう自分の手でものを作るチャンスがとても貴重だった。手本を見せられた時は、手で形を作るので容易いかなあと思ったが、思い描く形になかなか仕上がらずもどかしかった。幸い、漏れるところもなく茶碗らしいものを仕上げた。

二日目のビュッフェランチに驚いた。今までの研修旅行といい、スタディツアーといい、昼食 and 晩ご飯にはラーメン、和食が用意されたが、好きなものを選ぶビュッフェは初めてで、焼き魚、野菜サラダ、とり肉、アイスクリームなどを頂いた。これぞ食事の異文化交流で日本にいる醍醐味だ。各種の料理やスイーツで目も口も大満足だ。

最後に観た鶴ヶ城は、大阪城と同じく威容を誇り、参加者の記念写真は後々まで印象に残るだろう。建てられてから長い年月を経ているが、煌めき続けていて福島県の象徴となっている。しかも歴史の出来事と相まって、いっそうの神秘性を伴っている。

城の天守閣に登ったら眺望がよくて、町全体を見下ろせた。歴代の会津藩主・藩士たちは会津をどのように考えていたのか聞いてみたい。城内には歴代の藩主の画が奉られて彼らの愛用品などが置かれ、詳しい説明文もあったので、ふと武士の生活を垣間見たようだった。遡る時間の中で、影となり彼らを視たのは邯鄲の夢。白虎隊の悲劇を知った時、彼方から哀しみの声が聞こえてきたようで私は胸が痛かった。

一泊二日の研修旅行は短いが、広い福島県の観光地を十分に満喫できた。福島県にあつてこそその歴史・文化・慣習に触れることができて嬉しかった。

このような体験を通していつしか私は、福島をまるで第二の故郷のように大切に思っていることに気づいた。

【氏 名】 マキオル ジェームズ(オーストラリア)

2015年11月13～14日で会津地方の研修旅行に行きました。この旅行で会津のいろいろな場所で会津の歴史や文化について学びました。

13日は、太郎庵という福島県を代表しているお菓子メーカーの工場を見学しました。経験豊富な社員と新しい社員のお菓子作りに対する目標と希望を聞きながら、会津の住民の3.11からの復興にかける気持ちと意気込みを感じる事ができました。

14日は、会津地方の歴史をめぐる日程でいろいろと見学しました。天鏡閣に行きましたが、この屋敷はとても大きくて、和風の部屋とビリヤード室などが混在した明治時代の建築を知ることが出来ました。日本とオーストラリア、海を隔てているのに、同じルネサンス様式で屋敷の中の扉は僕の実家と似ているのに驚きました。

会津本郷焼の窯元で、陶芸品の昔からの作り方を学び、自分のマイカップを作る工程が楽しくて仕方ありませんでした。

大内宿は江戸時代の宿場町の面影を残していて、鶴ヶ城のたたずまいは静謐でした。友達と楽しい時間を過ごして、いろいろ見学できて全体的に楽しい旅行でした。

【氏 名】 <sup>デン</sup>田 <sup>ショウメイ</sup>笑銘(中国)

今回会津の研修旅行が良かったです。行く前に会津のことは全然知らなかったのですが、この旅行のおかげで、いろいろな勉強になりました。

まず、有名なお菓子工場を観覧しました。様々なお菓子の作り方が分かりました。そ

してお土産としてのお菓子をもらって食べましたが美味かったです。次に天鏡閣に行きました。百年以上の歴史がある天鏡閣は、以前の親王様の別荘でした。本当に綺麗でした。

気になるのは、百年前のトイレとお風呂です。あの時代にもうこんなお風呂を使っているのだと、日本人のお風呂好きに、びっくりしました。



天鏡閣から出て、私たちは本郷焼の店に行きました。過程が複雑ですが、最後に頑張ってこれを作りました！（笑）

その後、本郷焼の作る場所を観覧しました。前に専門家から焼きの原理を教えてもらいましたから、本物の釜場を見ると、すごいと思いました。



本郷焼きの体験が終わって、大内宿という昔の街道の有名な宿場に着きました。これで昔の日本のイメージがすぐ出来るようになりました。



最後に、鶴ヶ城天守閣に登りました。会津の歴史を思いながら城下の町を眺めました。以上、今回の研修旅行は楽しかったです。





【氏 名】 細川 真歩(学生チューター)

11月13日～14日にかけて1泊2日で会津に研修旅行に行ってきました。この研修旅行では普段一緒にお話しすることのなかった国の人とたくさん交流することができました。この研修旅行を通して自分の中の世界がぐんっと広がりました。

私は、会津に向かうバスの中で、日本人代表として会津に関するクイズを皆さんに出題しました。少し留学生の皆さんにとっては難しいかなと思った問題が複数ありましたが、その心配はありませんでした。むしろ留学生の皆さんの方が会津に詳しくかったです。このように自分の国のことを知っていてくれるということは福島に住む私にとって嬉しいことでした。

この情報を知っているなら、「もっと違う情報を伝えたい」「会津は素敵なおとこだ」と思ったからです。私は来年交換留学でドイツに行くので、行く前にドイツについての知識をたくさんつけてから出発しようと決意しました。

国立磐梯青少年交流の家に到着して夕べのつどいに参加後、夕食交流会がありました。夕食交流会ではこの旅行に参加しているすべての人とお話しすることができました。

ベトナムから来ている留学生の方たちとはベトナムの料理について教えてもらいました。ベトナムでは日本では食べない動物を食べていると聞いて驚くことがたくさんありました。カエルや犬を食べるそうです。日本では食べることがないのでおいしそうとは思いますが、彼女たちが言っているのを聞いて食べてみたいと思いました。

また「日本の料理は口に合う？」と聞いたところ「美味しいけど、一番は故郷の味だ」と言っていました。今度ベトナムの料理を作ってくれると言ってくれたので、食べるのが楽しみです。私もドイツに行ってから日本料理をルール大学にいるドイツ人の皆さん、世界各国から来ている留学生の皆さんに振る舞えるように今から料理の特訓も始めようと思います。

2日目の朝には久しぶりにラジオ体操をしました。初めて英語バージョンの音楽に合わせてやりましたが、「英語ではこう言うんだ」と勉強になったし、小学校6年間やってきた体操なので体が覚えていて自然と次の体操に移っていけました。

会津本郷焼陶芸体験では、みんなの個性豊かな作品をみることができ自分もみんなに自慢できる作品に仕上げようと心をこめてつくりました。陶芸は初めての体験だったのでこの機会に作ることが出来てうれしく思います。

今回作った湯呑は、ドイツに行くときに持って行って陶芸をみんなに教えたいと思います。

この2日間は、すべての時間が充実していてあっという間に過ぎて行ってしまいました。最後に「この研修旅行は思い出に残るね!」といったところオーストラリアからきているジェームズ君に「思い出が残るって間違った日本語じゃないの?」と質問されてほかの国では思い出が残るとは言わないんだということを知り日本語は奥が深いということに改めて考えさせられました。

**【氏 名】 ゲオリギアチス フィリップ(ドイツ)**

From the 13th to the 14th November we had the opportunity to go on a trip to Aizu. First up on our itinerary was a visit to a local sweets factory. We got an insight into the process of producing sweets and the work life of the people in this company. Since it was my first time looking behind the scenes of a sweets factory it was interesting.

The accommodation facilities were very convenient. In the evening we all had a great meal together and a party. Everyone had a good time, eating, drinking and taking pictures together. In the morning of the 14th we visited the holiday villa from an aristocrat dating back to the Meiji period.

The furnishing inside the villa was elegant and beautiful to look at. The whole residence has been kept in a great condition, so it was a good chance to see the home of noble people in past times.

Next we had the opportunity to try ourselves at pottery. I never crafted something before in my life, it was a completely new experience and although it was very difficult for me, I enjoyed the process.

Probably the highlight of this trip was a visit to the Aizuwakamatsu Castle. The castle is very impressive to look at and inside there is an interesting museum with galleries telling the history of this storied castle. The largest tower of the castle provides a panoramic view of the city which was beautiful.

I really enjoyed the trip to Aizu. Especially the varied activities made this trip very interesting. I would like to thank everyone involved who contributed to make this trip possible. I had a great time in Aizu. Thank you very much!

**【氏 名】 成<sup>せい</sup> 竹<sup>ちく</sup>(中国)**

1. 所 属 福島大学理工研究
2. 研究期間 平成27年11月13・14日
3. 研究内容 お菓子屋の職員の交流・会津の史跡を観光
4. 研究の感想

今回二日間ではありますが、留学生研修旅行に参加させて頂きましたので、ご報告致します。

私は新入生として、留学生の交流と福島歴史をめぐり旅を目的として参加致しました。先ず、太郎庵工場での見学に行きました。お菓子の制作について、会津の人々は究極の、美味しさを追求するために機械化をせず、作り置きをしません。毎日作り続けるなど繊細なこだわりがあって自慢できる品が出来上がることを知りました。更に、障害者雇用対策の応用、障害のある人が障害のない人と同様に働けることなど自立した生活

を送る事について、バリアフリーを実践するための詳しい説明を聞きました。

会津観光は史跡を訪ねる旅と、陶芸の体験を楽しみました。

私は新入生なので、先生たちの熱心さと優しい心使いに触れることが出来て感動の連続でした。また、次回の旅を期待しています。

## 【氏 名】 ファン フィ チュン(ベトナム)

### 1 今回の研修旅行でよかった点、勉強になった点について

今回の研修旅行は、会津地方へ1泊2日で行ってきました。天鏡閣、大内宿、鶴ヶ城といった観光名所を見学したほか、お菓子メーカー・太郎庵の工場見学や会津本郷焼陶芸体験なども取り入れました。

#### 1日目

太郎庵本社工場に行ってそちらでお菓子メーカーのシステムやお菓子の作り方などを聞いてきました。お菓子メーカーの社長は、英語、ベトナム語、中国語でみんなに会社について話してくれました。ベトナム語で聞くとすんなり頭に入ってきました。

#### 1日目の夜

留学生たちと先生は食事をしてからゲームをしたり写真を撮ったりして楽しかったです。本当に福島大学に入ってから本当に毎日勉強で日本人とベトナム人以外お話しするのはほとんどチャンスがありません。交流や遊びに出かけたことがなかったからです。

#### 2日目

会津本郷焼き陶芸体験、天鏡閣、大内宿、鶴ヶ城に行きました。

会津に行く前には、福島県に綺麗なところがないと思っていました。それで、友達とおしゃべりするときもそんな話題ばかりでした。しかし会津に行って思っていたことが間違っていたのに気づきました。会津はどこも綺麗でしたが一番きれいな所は、大内宿だと思います。何百年もたっているのに昔のままの形を保っています。住民のかたが協力して守っているのです。大内宿に行ったら私は日本の江戸時代の村に立っているのではないかと思いました。私にとって今回の研修旅行は本当に勉強になりました。

今回の研修旅行は福島大学外国人留学生後援会が企画されました。まことにありがとうございました。福島大学での最初の素晴らしい体験でした。

## 2 平成27年度前期新入留学生歓迎会について

|             |                                                                                             |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時        | 平成27年4月21日 18時～21時                                                                          |
| 場 所         | 国際交流会館多目的ホール                                                                                |
| 参加者数<br>87名 | <b>【内 訳】</b> 留 学 生 27名<br>ドイツ 2名<br>中 国 12名<br>ベトナム 12名<br>ロシア 1名<br>日本人学生 38名<br>教 職 員 22名 |



前期新入留学生歓迎会は、3月にリニューアルしたばかりの国際交流会館多目的ホールで開催され、留学生、日本人学生だけでなく、環境放射能研究所の外国人教員も参加するなど、総勢87名という多彩な顔ぶれが一同に会して行われました。まず、中井学長の歓迎の挨拶から始まり、続いて新入生（中国7、台湾1、ベトナム5、ドイツ2、ロシア1）の自己紹介、在学中の留学生からの歓迎の挨拶とパワーポイントによる福島での生活についての発表が行われました。



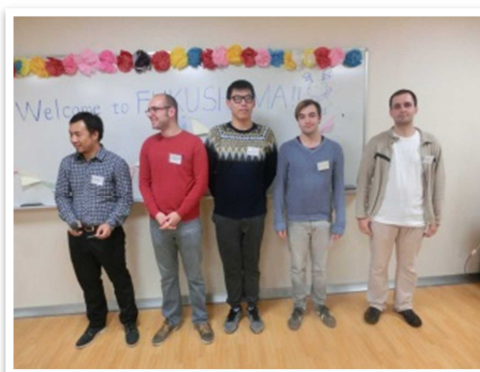
続いて、アイスブレイキングとして、学生サークル・カラーズのメンバーが中心となって参加者全員でゲームを行い、参加者同士の垣根が取り払われていき、最後は、会場全体が一体感に包まれた雰囲気になりました。また、自国の料理を振る舞う参加者も多く、ゲームのあとは、参加者の皆さんは様々な多国籍料理を味わいながら、交流しておりました。さらには、経済経営学類・菊地先生による居合道の演舞が行われ、その気迫に多くの参加者は圧倒されていました。

会のラストには、新入学生代表の蔡騰輝君<sup>さいとうき</sup>よりこれからの抱負を述べていただき、この会を契機にこれから留学生、日本人学生、外国人教員が積極的に交流していくことを皆さんで誓い合って閉会しました。



### 3 平成27年度後期新入留学生歓迎会について

|             |                                                                                                        |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時        | 平成27年11月9日 18時～21時                                                                                     |
| 場 所         | 国際交流会館多目的ホール                                                                                           |
| 参加者数<br>44名 | <b>【内 訳】</b> 留 学 生 15名<br>オーストラリア 1名<br>ドイツ 2名<br>中 国 8名<br>ベトナム 3名<br>ロシア 1名<br>日本人学生 22名<br>教 職 員 7名 |



後期新入留学生歓迎会は、先ず、小沢喜仁国際交流センター長の歓迎の挨拶から始まり、続いて新入生（ドイツ2名、オーストラリア1名、中国2名）の自己紹介、そして10月に着任した日本語補講担当特任専門職の永島恭子さんによる自己紹介が行われました。

続いて、アイスブレイキングとして、学生サークル・カラーズのメンバーが中心となって参加者全員で風船ゲームを行い、ゲームが進むにつれ、留学生と在学生、日本人学生の垣根が取り払われていき、最後は、会場全体が一体感に包まれた雰囲気になりました。

また、オーストラリアのアンザッククッキーの手工作り品やポテトのオープン焼き・フルーツの盛り合わせなど、学生有志によるそれぞれの得意な料理や季節の果物の差し入れがあり、思いがけず「食」の異文化交流をも体験することとなり、皆さんも舌鼓を打たれていました。

本歓迎会は、前期に引き続き学生サークル・カラーズの運営協力のもと、実施することができました。また、後期入学者の拡大に伴い、年2回の実施としたことは、結果的には留学生と日本人学生の出会いと交流の場を増やすことに繋がり、学生同士の国際交流推進に大いに役立ったといえます。



## 4 外国人留学生後援会奨学金受給者について

本後援会では、外国人留学生の支援を目的とした奨学金支給を行っており、本年度は以下の5名に奨学金を支給しました。《支給額 一人あたり月1万円（年間12万円）》

|   | 所 属            | 学 年 | 【氏 名】                |                 | 出身国  | 性別 |
|---|----------------|-----|----------------------|-----------------|------|----|
| 1 | 経済経営学類         | 1   | TRAN QUOC DUNG       | チャン クック ユーン     | ベトナム | 男  |
| 2 | 経済経営学類         | 3   | 陳 孫浩                 | チン ソンコウ         | 中国   | 男  |
| 3 | 行政政策学類         | 3   | 張 天一                 | チョウ テンイチ        | 中国   | 男  |
| 4 | 共生システム<br>理工学類 | 4   | 閔 晟彦                 | ミン シンヤン         | 中国   | 男  |
| 5 | 共生システム<br>理工学類 | 2   | Tran Thi Bich Nguyet | チャン ティ ビック グェット | ベトナム | 女  |

上記の奨学生は、下記の国際交流活動や地域交流活動において、運営補助や報告等の活動を行いました。

### 【国際交流活動】

- ①Fukushima Ambassadors Program VIII（1/5～16）でのボランティア活動
- ②留学生・日本人学生交流研修旅行（12/13）の企画・運営
- ③JENESYS2015 台湾の大学生との交流会（1/29）での運営補助

### 【地域交流事業】

- ①福島市笹谷団地ふれあいの集い（12/11）での発表  
福島市笹谷団地の住民との交流会に参加し、母国の文化や日本での生活体験について、住民に発表した。
- ②福島大学附属小学校児童との交流会（1/20）での発表  
附属小学校1年生の国際交流の授業において、母国の文化や日本での生活体験について発表し、児童と交流した。

※ なお、留学生生活資金貸付及び『留学生住宅総合補償加入金補助』保険料一部負担については、平成27年度は実績ありませんでした。

## 5 平成26年度～平成27年度実施事業一覧

平成26年度及び27年度は以下のイベントを実施したほか、留学生への奨学金支給や生活資金貸付等を実施しました。

| 日 時           | イベント名                                                                                 | 場 所                      |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 2014/4/16     | 【平成26年度外国人新入留学生歓迎会実施】<br>新入留学生本学学生、教職員78名が参加し、新入留学生歓迎会を実施しました。                        | 大学会館2階<br>レストラン<br>グリーン  |
| 2014/7/23     | 平成26年度福島大学外国人留学生後援会役員会を開催しました。                                                        | 福島大学                     |
| 2014/11/7-8   | 【平成26年度福島大学研修旅行実施】<br>留学生及び日本人学生チューター21名が参加し、留学生研修旅行を実施しました。                          | 日光東照宮ほか                  |
| 2015/4/21     | 【平成27年度前期外国人新入留学生歓迎会実施】<br>新入留学生本学学生、教職員87名が参加し、新入留学生歓迎会を実施しました。                      | 国際交流会館多<br>目的ホール         |
| 2015/7/10     | 福島県内企業等で研修中のベトナム・フンドン大学学生2名を招待し、学生サークル・カラーズが中心となり、主にベトナム人を中心とした留学生及び日本人学生の交流会を実施しました。 | 福島大学                     |
| 2015/7/17     | 平成26年度福島大学外国人留学生後援会役員会を開催しました。                                                        | 福島大学                     |
| 2015/11/9     | 【平成27年度前期外国人新入留学生歓迎会実施】<br>新入留学生本学学生、教職員44名が参加し、後期入学新入留学生歓迎会を実施しました。                  | 国際交流会館多<br>目的ホール         |
| 2015/11/13-14 | 【平成27年度福島大学研修旅行実施】<br>留学生及び日本人学生チューター23名が参加し、留学生研修旅行を実施しました。                          | 大内宿、鶴ヶ城、<br>会津本郷焼き<br>体験 |

## 《参考》会費収入の使途について

<会費収入は下記の4つの事業に使用させていただいております。>

① 留学生への奨学金給付

『福島大学外国人留学生後援会奨学金』

(給付期間1年：月1万円、募集人員各年度5名)



奨学金支給対象者は、福島大学留学生の代表として、国際交流や後輩の学生生活支援に協力する義務があり、新入留学生のサポート作業などを行っています

② 留学生への生活資金の貸付け

(期限1年：最大5万円、貸付け前の審査有り)



交通事故や入院による急な支出が必要となった留学生や、勉強が忙しいため、アルバイトをすることができない留学生を支援します！

③ 『留学生住宅総合補償加入金補助』保険料一部負担

アパート入居時の保証人がいない留学生に対して行う機関保証

(平成27年度1年間：1,500円)



大学が機関保証をすることで、留学生がアパートの賃貸契約を行うことができます！

④ 学生団体とともに行う留学生交流イベント等への費用助成



費用補助をいただき、新入留学生歓迎会や留学生研修旅行を行っています！